

プレスリリース

2015年 9月 2日

国立研究開発法人産業技術総合研究所

国立研究開発法人海洋研究開発機構

株式会社環境総合テクノス

海水のpH測定法の国際規格ISO18191が発行 －二酸化炭素モニタリング技術の構築による地球温暖化対策への貢献－

国立研究開発法人産業技術総合研究所【理事長中鉢良治】原田晃名誉リサーチャー（兼）地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター理事と環境管理研究部門【研究部門長田中幹也】鶴島修夫主任研究員は、国立研究開発法人海洋研究開発機構【理事長平朝彦】（以下、「JAMSTEC」という）海洋工学センター中野善之技術研究員とむつ研究所渡邊修一所長、株式会社環境総合テクノス【代表取締役社長中山崇】（以下、「KANSO」という）と共同で、海水の水素イオン濃度指数（pH）測定法を国際標準化機構（ISO）に提案し、国際規格ISO18191として発行されることになった。この過程でJAMSTECとKANSOの活動は、経済産業省と国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構の委託を受けて行われた。地球温暖化対策技術である二酸化炭素の海底下地層貯留における漏洩監視や海洋酸性化研究などへの貢献が期待される。

詳細は[産業技術総合研究所のサイト](#)をご覧ください。

国立研究開発法人海洋研究開発機構

広報部 報道課長 野口 剛